

鯨パニック第1弾! 全米を恐怖で引き裂き、遂に日本上陸

シャーク・トレジャー

■カラー作品■

SHARKS' TREASURE

コーネル・ワイルド
ヤフェット・コッター
ジョン・ニールソン
クリフ・オズモンド
製作・監督 コーネル・ワイルド
撮影 ジャック・アーチェラー
水中撮影 フォーリー・ハイアット
音楽 ロバート・ラクラント

珊瑚礁を鮮血に染めて
人喰い鯨の大群が襲いかかる!
凄まじいショックとスリルを
叩きつけた最高の話題作!



United Artists
Entertainment from
Transamerica Corporation
ユナイテッド映画

＜カラー作品＞

シャーク・トレジャー

SHARKS' TREASURE

*爽快な 海のアドベンチャー

果てしなく広がるカリブ海。珊瑚礁に群がる巨大な人喰い鯨。海底に沈んだ1000万ドルの黄金を求めて、獐猛な鯨と闘う海の男たち……。『シャーク・トレジャー』は、アメリカ映画の才人コーネル・ワイルド(ビーチレッド戦記)が、海洋映画のあらゆるエッセンスを叩き込んで製作した、爽快な海のアドベンチャー巨篇である。

*珊瑚海で決死の撮影！

この映画の主演は、なんとといっても鯨だ。オーストラリア北東約560キロの珊瑚海に、400匹にも及ぶ鯨の大群を見つけ、この周辺で2ヶ月にわたる決死の撮影が行なわれた。イギリスから招かれた特殊撮影チームがロケ隊の中心で、彼等は防禦のため、223パワーのライフルを手にしながらアリフレックス・カメラを駆使して撮影を続けたという。

*ほんものの鯨の迫力！

製作、監督にあたったコーネル・ワイルドによれば、「記録映画に出てくる鯨ですら、生洲(いけす)で飼われたものがほとんどです。一旦いけすで飼われたり、餌を与えられたりすると、自然のものとは動きが全く違ってきます。この映画にでてくるのは、そういった不自然さを排してほんものだけが持つ迫力を出すように努力しました」

というワイルドの言葉のように、水中シーン一つをとっても、鯨の動きを妨げないようにするため、照明を一切使わず、水を通して入ってくる太陽光線だけで撮影されたほどである。

■キャスト■

ジム……………コーネル・ワイルド
ベン……………ヤフェット・コッター
ロン……………ジョン・ニールソン
ロボ……………クリフ・オズモンド
島の女……………ロクサナ・ボニーラ

■スタッフ■

製作・監督……………コーネル・ワイルド
撮 影……………ジャック・アチエラー
海底撮影……………アル・ギディングス
海洋シーン顧問……………クリント・デン
音 楽……………ロバート・ラグラント

*恐怖の鯨パニック 第1弾日本へ！

いまアメリカでは、嵐のような鯨パニックが吹き荒れているが、『シャーク・トレジャー』がその第1弾として、全米各地で見事なヒットを飛ばしている。75年7月にキャンペーンのため来日したコーネル・ワイルドは記者会見の席上こう云っていた。

「ほんものの鯨だけが持つ迫力と恐怖がヒットした最大の理由だと思えます。鯨シーンの撮影にあたったスタッフのほとんどが負傷し私自身も、水中の檻を突き破って来た鯨に腕を噛まれ、珊瑚礁では毒ウニに刺されて、いまでも注射をうっています。鯨は、泳いでいるところを横から見ると、この上なく美しいが、面と向うと、ほとんどが口に見えて、あんないやなヤツはありません。もう二度と鯨に会うのはごめんです。」

日劇地下

10月下旬ロードショー

■特別鑑賞券800円
(一般1000円/学生900円)の処 発売中！

丸の内東宝 (211) 6088